

## 「第 50 回富山県北方領土復帰促進少年少女北海道派遣事業」概要報告

- ・派遣期日 令和元年 8 月 2 日（金）～ 8 月 5 日（月）
- ・派遣団員 25 名（派遣生徒 18 名、引率 7 名）
- ・派遣場所 北海道札幌市、根室市等

### 【1 日目】 8 月 2 日（金）天候：晴れ 主な行程：鈴木直道道知事表敬訪問（北海道庁）

富山空港発、羽田空港経由、新千歳空港着。

新千歳空港到着後、バスで札幌市内に移動し、白い恋人パーク見学後、鈴木直道道知事表敬のため北海道庁を訪問した。鈴木道知事には公務のためお会いできなかったが、大野久芳団長（富山県北方領土復帰促進協議会長）が代表でありさつを行った後、中野祐介副知事に対して北野愛莉さん（砺波市立般若中学校）が富山県知事のメッセージを、木下 涼さん（黒部市立桜井中学校）が北方領土返還要求運動富山県民会議会長からのメッセージをそれぞれ朗読し手渡した。表敬訪問後、赤レンガ庁舎（北海道庁旧本庁舎）内をボランティアガイドの案内のもと見学し、日頃できない経験をさせていただいた。

### 【2 日目】 8 月 3 日（土）天候：晴れ 主な行程：道東方面視察

新千歳空港から根室中標津空港に到着。空港到着口で北海道立北方四島交流センター（根室市総合政策部北方領土対策室）の宗像さん、古山さんの出迎えを受けた。和歌山県の訪問団（中学生 5 名、引率 3 名）と合流し、ともに昼食をとった。古山さんにバスに同乗いただき、野付半島を視察。快晴の空のもと、オホーツク海にせり出した砂州の美しい景色、北方領土の島々にも群生する高山植物の風景を満喫した。また、根室市内へ向かうバスの中からも、北海道の広い大地に点在する牧場やシカの姿も見られ、その雄大な自然を体感できた。午後 7 時過ぎまでに歯舞漁協による民泊受け入れ先に到着。各民泊先で生徒たちは、漁村の暮らしについてのお話を伺いながら、地元の新鮮な海産物などによる夕食を堪能した。

### 【3 日目】 8 月 4 日（日）天候：晴れ 主な行程：根室市民大会参加、根室市長表敬訪問、 地元中学生意見交流会参加

前日に引き続き和歌山県訪問団と合流。気温は 22℃前後の気温で、過ごしやすかった。

北方領土返還要求根室市民大会が北方四島交流センター（ニ・ホ・ロ）特設会場で開催された。

#### 令和元年度北方領土返還要求根室市民大会

会場には「島を返せ」など書いたタスキをした根室市民や返還運動関係者およそ 700 人が参加。

式典では、元島民物故者に黙祷を捧げたあと、大会長である石垣雅敏根室市長が、どんな困難があろうとも、全国の先頭に立って、返還要求運動にまい進することを誓うと挨拶されました。来賓として、河野太郎外務大臣、宮腰光寛内閣府特命担当大臣のメッセージが代読された。また鈴木宗男参議院議員、鈴木貴子衆議院議員、伊東良孝衆議院議員、鈴木道知事代理から、それぞれ領土返還の早期実現を目指す決意を込めた挨拶があった。

直近の 8 月 2 日には、ロシアのメドベージェフ首相が、北方領土を訪問し、自国の領土として島を開発していく姿勢を改めてアピールし、平和条約交渉の進展を期待する日本側をけん制する動きもあったことから、式典では、北方領土返還に向けて、政府には、外交交渉を具体的かつ現実的に

前進させるよう要望する声が多数聞かれた。

また、式典のなかで富山県、和歌山県の派遣中学生から石垣市長へのメッセージが渡された。本派遣団からは、多賀伊純さん（黒部市立高志野中学校）がメッセージを朗読し手渡した。

大会参加者を代表して、元島民をはじめ、青年、女性そして経済団体の代表者が登壇。北方領土問題の一日も早い解決を求めて悲痛な叫びを上げた。不法占拠から長い期間が経過し元島民の高齢化が進み多くが亡くなっている現実がある。領土問題を風化させず、若い世代に引き継ぎながら一刻も早い北方領土問題の解決が必要だと感じた。最後に、大会決議案が、満場の拍手で採択された。

#### 根室市長表敬訪問

富山県、そして和歌山県の代表生徒が挨拶（富山県代表は高岡市立高岡西部中学校の川路紘之介さん）し、石垣根室市長より歓迎の挨拶とお土産を受け取る。

石垣根室市長からは「北方領土の元島民の方の多くが故郷の土を踏むことなく亡くなっている。引き続き力強く返還運動を展開していきたい。」と話された。

#### 地元中学生等意見交流会

市長表敬訪問の後、根室市内の中学生とともに北方四島交流センターを見学。北方領土に関するキーワードを学べる「北方領土ビンゴゲーム」を楽しみ、互いに打ち解け仲良くなったところでグループごとに「北方領土問題を知ってもらうために」をテーマに活発な意見交換を行い、発表を行った。同年代との交流であったことから、領土返還の世論高揚のために「SNS を利用する」、「ポスター、CM、動画を作る」などさまざまな意見が出ていた。

全ての行程を終えた後、根室市内の宿泊所に戻る。

#### 【4日目】8月5日（月）天候：晴れ 主な行程：納沙布岬視察、道東方面視察、帰路

最終日は、晴天であったが一帯が霧に包まれ、23℃前後と過ごしやすい天気であった。今回の日程を共にした和歌山県の中学生訪問団と納沙布岬に向かう。

#### 納沙布岬

納沙布岬に到着し、北方館・望郷の家、北方領土返還祈念シンボル像「四島のかげ橋」を視察。北方館長の説明を聞いた。あいにくの霧のため、歯舞群島、国後島は見る事が出来なかった。「四島のかげ橋」の下で燃え続ける祈りの火を見ながら、「根室市民大会」で、ふるさと返還を訴え続ける元島民の方々や根室の人々の姿に思いをさせ、北方領土の返還に向けた声を富山へしっかり伝えていくことを確認できた。

納沙布岬の視察後、サーモン科学館に立ち寄り見学、その後根室中標津空港から、羽田空港を経由し、富山空港に到着し、解散式を行った。3泊4日の短い派遣期間であったが、互いに打ち解け合い仲良くなった生徒らは、互いに別れを惜しんでいる様子だった。訪問中は天候にも恵まれ、派遣団全員病気や怪我などのトラブルもなく、有意義な派遣事業となった。